

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	福島県立医科大学大学院医学研究科						
教育プログラム・コース名	放射線腫瘍学コース（正規課程）（テーマ①）						
対象職種・分野	医師、医療従事者・放射線治療						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全身すべての臓器の悪性腫瘍に対し、患者個々のニーズを考慮し、根治治療から緩和的治療まで診療できる放射線治療専門医。</li> <li>・高精度放射線治療（IMRT、陽子線治療、他）などの治療法の適応を考慮し、近隣施設と連携して、適切な診療ができる放射線治療専門医</li> <li>・核医学治療の適応を理解し、適切な核医学診療ができる専門医</li> <li>・放射線治療を含む新たな集学的・個別化治療を研究・開発できる研究者</li> <li>・国際的視野を持ち教育・研究できる医療系学部教員</li> </ul>						
修了要件・履修方法	単位取得（30単位） 特論4単位、特別研究演習8単位、研究指導4単位、共通必修科目2単位、選択科目12単位かつ、博士論文審査と最終試験の合格。						
履修科目等	<p>〈必修科目〉 腫瘍専門医特論（4単位）*、腫瘍専門医特別研究演習*（8単位）、研究指導（4単位）、共通基盤教育科目から2単位（総合人間学特論1単位を含む）</p> <p>〈選択科目〉 医学特論演習（10単位＝5科目）、大学院セミナー**（2単位＝20回聴講、ポスター発表） *臨床腫瘍学特論I～II（4単位）、臓器別臨床腫瘍学特論（4単位）、腫瘍関連学際領域特論（2単位）次世代腫瘍予防学特論（2単位）を含む。**がんプロセスセミナー含む</p>						
がんに関する専門資格との連携	放射線治療専門医（日本専門医機構・日本医学放射線学会）の研修施設として認定。						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	福島県内全ての放射線治療施設・核医学治療施設と連携しており、また、2017年からは米国オハイオ州立大学（OSU）包括がんセンター放射線治療科と教育・研究に関するMOUを締結し、希望により福島県内施設、OSUでの研修も可能である。福島国際研究教育機構（F-REI）放射線科学分野とも連携する予定であり、国際的な教育・指導体制を有している。						
指導体制	福島県立医大医学部放射線腫瘍学講座の教授・他4名の放射線治療専門医、及び、核医学科・先端臨床研究センターに所属する核医学治療を専門とする核医学専門医・教授2名が中心となり、福島医大病院の各領域の専門医が連携して指導する。 また、福島国際研究教育機構（F-REI）、米国オハイオ州立大学の専門家らとも連携して指導する。						
修了者の進路・キャリアパス	学位（博士）・放射線治療専門医を取得し、福島県、及び、周辺地域における放射線治療・核医学治療を提供する施設において、常勤医師として、診療、研究、教育に従事する。放射線治療に関する研究・人材育成を担うものとして県内医療系学部教員として活躍する。						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数 <small>※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。</small>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	1	1	1	1	1	5
受入目標人数設定の考え方・根拠	過去の大学院志願者数から、毎年度0.5人程度の志願者が見込まれるため、受入れ目標人数を毎年1人と設定。毎年1名の放射線治療専門医（核医学治療も十分に習得した）が育成できれば、福島県内で放射線治療を行っている10施設全て、核医学治療を行う2施設全て、に放射線治療専門医を最低1名ずつ配置することが可能と考えられる。（現在、福島県内で働いている放射線治療専門医18人（実勤）、核医学治療を専門とする核医学専門医4名（実勤））						